

無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究 (①無02-12-2/5)

目 的

我が国の風俗習慣、民俗芸能、民俗技術等無形民俗文化財のうち、近年の受容の著しいものを中心に、その実態を把握するために資料収集と現地調査を行う。また、無形民俗文化財研究協議会を実施し、その成果を報告書にまとめる。さらに、これまで東京文化財研究所で収集し、保管している無形民俗文化財についての記録・資料の整理を行い、将来的な公開に向けての媒介転換等の準備を進める。

成 果

1. 無形民俗文化財に関する調査・資料収集

風俗慣習の調査として鹿児島県の甕島のトシドン（国指定重要無形民俗文化財）及び大隅半島の柴祭りの調査を行った。また昨年度からの継続テーマである削りかけ状祭具に関わる技術と風俗慣習の研究として、マレーシア・ボルネオ島で比較調査を行った。その成果は『無形文化遺産研究報告』で報告した。また岩手県・宮城県の被災地域における無形民俗文化財の現状調査や資料収集、関係者からの聞き取りを行った。

2. 無形民俗文化財の公開状況に関する調査研究

美濃まつり（岐阜県）、東北六魂祭2012（岩手県）、地域伝統芸能全国大会福島大会「ふるさとの祭り2012」（福島県）、第1回全国高校生伝統文化フェスティバル（京都府）における民俗芸能等の公開状況調査を実施した。

3. 研究集会の開催

2012年10月26日（金）、「記憶・記録を伝承する―災害と無形の民俗文化」をテーマに第7回無形民俗文化財研究協議会を東京国立博物館平成館で開催し、160名の参加者を得た。

論文

- ・今石みぎわ「ボルネオ島サラワク州における削りかけ状木製具について―日本列島の削りかけ習俗との比較から―」『無形文化遺産研究報告』7 pp.49-72 13.3

発表

- ・今石みぎわ「無形民俗文化財の復興支援について」 災害・復興アーカイブシンポジウムin宮城 石巻市河北総合センター 12.7.6
- ・今石みぎわ「連続講座 イナウとは何か」 アイヌ文化交流センター 12.9.21
- ・今石みぎわ「菅江真澄と旅―旅する巨人・宮本常一の視点から」 全国菅江真澄研究集会男鹿大会 12.9.15
- ・今石みぎわ「無形文化遺産の復興支援」 シンポジウム「リスク社会のイノベーション2013―情報共有に基づく公民協働型防災の実現を目指して―」 13.3.1

刊行物

- ・『第7回無形民俗文化財研究協議会報告書 記憶・記録を伝承する―災害と無形の民俗文化』 東京文化財研究所 13.3

研究組織

○宮田繁幸、今石みぎわ（以上、無形文化遺産部）、齋籐裕嗣（客員研究員）

第7回無形文化遺産部公開学術講座（①無01-12-2/5の一部として実施）

12月8日、東京国立博物館平成館大講堂において、山口鷺流狂言保存会を招聘して公開学術講座を行った。タイトルは「山口鷺流狂言の伝承を考える—東京文化財研究所無形文化遺産部所蔵記録をめぐって—」。入場者数243名。

プログラム

講演Ⅰ 稲田秀雄（山口県立大学教授）「山口鷺流狂言の歴史と位置」

実演Ⅰ 宮城野（萩大名）

講演Ⅱ 高桑いづみ（東京文化財研究所）「無形文化遺産部所蔵記録『山口鷺流狂言の小舞謡』の意義」

実演Ⅱ 不毒

実演 山口鷺流狂言保存会

無形民俗文化財研究協議会（①無02-12-2/5の一部として実施）

無形文化遺産部では、無形民俗文化財の保存・継承に寄与することを目的として、毎年無形民俗文化財研究協議会を開催してきた。第7回にあたる本年度は、昨年度からの継続テーマとして「記憶・記録を伝承する—災害と無形の民俗文化」を取りあげた。災害という局面において無形の文化を守り伝えるために「記録」をどのように捉え実践するのか、報告・総合討議を行った。その成果は報告書として刊行した。

日時：2012（平成24）年10月26日（金）10：30～17：30

会場：東京国立博物館平成館

参加者：160名

テーマ：記憶・記録を伝承する—災害と無形の民俗文化

内容：

【発表】

飯坂真紀（ふるさと岩手の芸能とくらし研究会）「津波から100kmのまちで」

小谷竜介（宮城県教育庁文化財保護課）

「被災地における民俗調査の在り方—震災前からの調査と震災後からの調査—」

阿部武司（東北文化財映像研究所）「記録DVD『3.11東日本大震災を乗り越えて』について」

大山孝正（福島県文化財センター白河館まほろん）

「民俗資料・記録の活用に向けて—福島県の被災地から—」

長坂俊成（（独）防災科学技術研究所）

「被災者と人類のための災害復興アーカイブ—311まるごとアーカイブスの取り組み—」

【総合討議】

上記報告者と下記コメンテーター、コーディネーターによる総合討議を行った。

コメンテーター：久保田裕道（儀礼文化学会）、齊藤裕嗣（東京文化財研究所）

コーディネーター：今石みぎわ（無形文化遺産部）

総合司会：宮田繁幸（無形文化遺産部）